



みなさんは、日々の暮らしの中にご近所付き合いや気の合う仲間がいますか？
5年後、10年後に向けて「住みやすい、住んでいてよかった。」と思える、人と人との「つながりのある地域」をめざし、「地域のお宝」として、ご紹介していきます。

取材先

よしの よしろう
 藪塚地区 吉野芳郎さん

よしの よしろう
 吉野芳郎さん 76才

「自分が生きてきた結果として、地域に恩返しをしていきたい。」そう語る吉野さんは、民生委員として活動し、今年で11年目。しろがね学園や福祉大学の講師として働いた経験から、地域に住んでいる方々と顔の見える関係作りをされています。

特に地域の中でも交流を好まない人がいた時、吉野さんは、常にあなたのことを見守っていますよというメッセージを込めて、訪問の際は、手渡しで名刺を渡したり、顔を見て会ってもらえるようにちょっとした手土産をもっていくなど工夫をしています。


さいしよくさぼう よしの
 高齢者の居場所「菜食茶房 芳埜」

吉野さんは、民生委員として活動するかたわら、完全予約制の喫茶店「菜食茶房 芳埜」も運営しています。

完全予約制は、民生委員などの活動で忙しいながらも喫茶店を続けていくためです。

自宅を改装して作ったスペースは家にいるような温かみがあり、来る人を安心させます。

ターゲットは高齢者。1食500円のランチで季節によってメインは変わり、夏は冷や汁、冬は煮ぼうとうやすいとんなどにしています。

「自分が今よりも年をとった時のことを考えると、気の合う人たちだけで小規模にやっていきたい気持ちもすごく分かる。ここは、そういう小さな集りにしたい。」と吉野さんは語ります。

地域のお年寄りに喜んでもらいたい、地域の高齢者が気軽に集まれる場所を作りたいという想いで70才から始めた「菜食茶房 芳埜」は、今年で6年目。

コロナウイルス感染予防のため、手作りパーテーションを作ったり、人数制限をしながら現在も続いています。


よしの
 芳埜の看板

よしの
 芳埜の様子

ポイント！

- 人と顔の見える関係を大事にすることで、何気ないことでも相談してもらえるように工夫しています。
- 高齢者の居場所があることで、お年寄りの楽しみが増え、健康増進につながります。

お宝情報を募集中！「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方はお問合せまで！



詳しくはこちら

お問い合わせ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係
 〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549
 TEL 0276-30-0033 FAX 0276-30-0032

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

取材先

藪塚地区 子ども食堂「こだまちゃん」

子ども食堂「こだまちゃん」は、今年で3年目。元民生委員の集まりである「きさら会」がボランティアとして吉野さんのお手伝いをし、1回100円で利用できます。

コロナの影響もあり、今年3月からは、お弁当に切り替えて活動を続けています。

開催日は月に1回、第2土曜日。家庭の事情に関係なく、子どもなら誰でも利用することができます。吉野さんは、「こだまちゃんへくる子は低所得の家の子と思われては、差別やいじめの温床になるため、子どもで100円払えば誰が来ても、お弁当を渡しているよ」とお話していました。

吉野さんの活動に賛同してくれている方々からは、野菜やお菓子の寄付があり、お弁当の材料として使ったり、お土産として、お弁当と一緒に持ち帰りしてもらっています。



こだまちゃんの様子



お弁当は毎回ボランティアの手作り！

お弁当を買いにきました！

こだまちゃんをお手伝いしているボランティアさん



かなや たかお

金谷孝雄さん 76才

吉野さんの中学校の同級生。吉野さんとは、長い付き合いで、何かあった時はお互いに助け合う関係です。



いだ すみえ

井田寿美永さん 83才

こだまちゃんの店番をしています。吉野さんとは、子どもの時からのつきあいで、本当の兄弟のように思っています。こだまちゃんの他にも週に2,3回吉野さんの家から下校時の小学生の見守りをしています。



いしかわ やすこ

石川保子さん

元民生委員できさら会のメンバー。こだまちゃんの買い出しや調理をお手伝いしています。



なかた かよこ

中田加代子さん

元民生委員できさら会のメンバー。吉野さんの活動に賛同し、毎月お手伝いをしています。

ポイント！

○吉野さんが行っている活動に感銘を受けた方々が一緒にボランティアをしたり、食品の寄付をくれることで、**色々な人から支えられながら活動を続けています。**

○吉野さん自身、「ここは自分の家だけど、みんなの家」というように地域の人たちが頻繁に出入りする場所になっており、**1人暮らしの吉野さんにとっても、地域の人にとっても安心できる場所**になっています。

○コロナ下の影響もあり、**子どもたちが地域と接点を持つ機会が少なくなっている中でも、定期的に続いている活動です。**